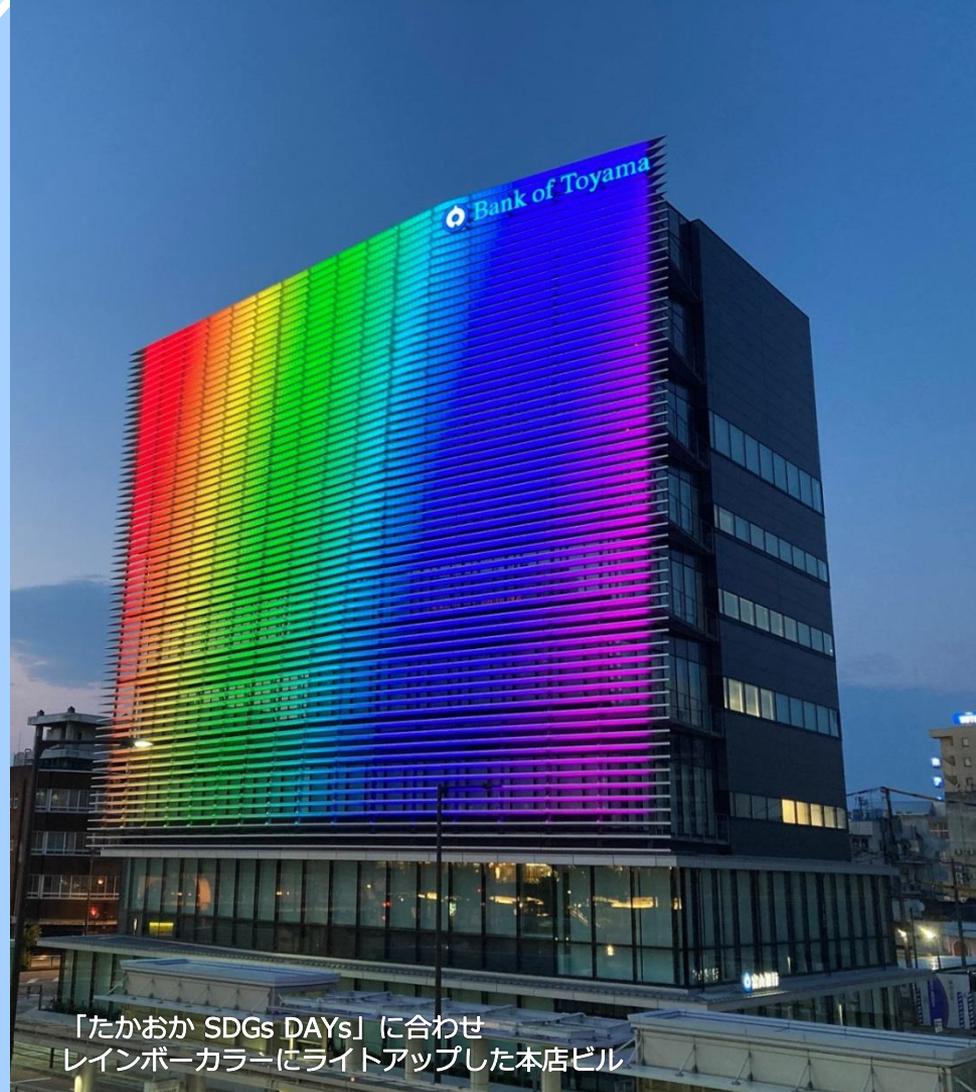


2023年3月期

富山銀行IR説明資料

東証スタンダード市場
コード番号：8365
<https://www.toyamabank.co.jp/>



「たかおか SDGs DAYs」に合わせ
レインボーカラーにライトアップした本店ビル

1 富山銀行の概要

富山銀行プロフィール	1
第5代目頭取 中沖 雄	2
富山銀行の歩み	3
富山銀行iプロジェクト	4
第6次中期経営計画	5

2 経営戦略

地域企業の持続的発展の支援	6
豊富なビジネスマッチング提携先	7
地域商社としての新たなアライアンス例	8
「とやま保険プラザ」の展開	9
店舗戦略	10

3 富山銀行のSDGs

地域企業との連携によるSDGs推進	11、12
金融仲介機能を通じた地域社会への関与	13
個性を発揮できる職場環境への取組み	14
金融経済教育への取組み	15
自然環境保全への取組み	16
「情報銀行」としての取組み	17
地域社会への貢献	18

4 2023年3月期決算概要

業績概要	19
利益の推移	20
経費の推移	21
資本額・自己資本比率の推移	22
預金の推移	23
貸出金の推移	24
有価証券の推移	25
不良債権の推移	26
株主配当の状況・推移	27

1

富山銀行の概要



創業：1954/02/01

本店所在地：富山県高岡市
下関町3番1号

資本金：6,730百万円

店舗数：39店舗

従業員数：333人

※2023/03現在



高岡市

本店コンサルティングプラザ

嶋島支店 成美支店
 横田支店 旭ヶ丘支店
 駅南支店 福岡支店
 野村支店



射水市

新湊支店
 小杉支店



石川県金沢市

金沢営業部コンサルティングプラザ



砺波市

砺波支店
 砺波チューリップ支店
 庄川支店

●氷見支店

●石動支店

●入善支店
●黒部支店

●魚津支店
●滑川支店

●上市支店

●立山支店



南砺市

井波支店
 福光支店
 福光中央支店
 城端支店



富山市

富山支店
 中島支店
 諏訪川原支店
 大沢野支店
 新庄支店

五福支店
 柳町支店
 婦中支店
 堀川支店

富山駅前支店
 不二越町支店
 奥田支店
 八尾支店

<略歴>

- 1962/07 富山県富山市出身
- 1986/03 東京大学経済学部卒業
- 1986/04 株式会社日本興業銀行
(現 株式会社みずほ銀行) 入行
- 1990/08 同行 ニューヨーク支店
- 1991/08 同行 企業金融開発部
- 2002/09 みずほ証券株式会社ストラクチャード
ファイナンスグループ不動産投資銀行部長
- 2013/04 同社 執行役員 投資銀行部門営業担当
- 2016/04 同社 執行役員 グローバル投資銀行部門担当
- 2019/03 同社 執行役員退任
- 2019/06 株式会社富山銀行入行 企業金融部長
同行 常務取締役 企業金融部長
- 2020/05 同行 代表取締役頭取
高岡銀行協会 会長





1954/02
 富山産業銀行営業開始
 資本金1億円
 初代頭取 米田元吉郎
 1954/08
 井波信用金庫を吸収合併



1964/02
 旧高岡共立銀行に本店を
 移転



1993/06
 3代目頭取 高柳卓三
 1993/11
 名古屋証券取引所市場第二部に上場
 資本金を28億円に増資

2009/06
 4代目頭取 齊藤栄吉



2015/10
 東京証券取引所市場第一部に上場

2022/04
 東京証券取引所
 スタンダード市場

1954/02

1964/02

1967/08

1993/06

2009/06

2014/02

2015/10

2019/11

2020/05

2022/04

1967/08
 富山銀行に行名改称
 1972/05
 2代目頭取 米田寿吉



2014/02
 創立60周年
 2014/10
 東京証券取引所市場第二部
 に上場



2019/11
 新本店ビルの移転新築

2020/05
 5代目頭取 中沖雄

<第6次中期経営計画>

「富山銀行 *i* プロジェクト」 “Neo”

— 未来に向かって —

営業態勢の見直し

i プロジェクト

2009/04

経営基盤強化への取組み

i プロジェクト
フェーズⅡ

「収益性」「健全性」「生産性」「成長性」4つの車輪のバランス良き走行

「収益性」「健全性」「効率性」「成長性」全てのバランス良き追求

2012/04

3つの *i* の
進化

経営基盤確立への取組み

i プロジェクト
The Next

- ① 今後想定される構造変化に順応した営業力の強化を図る
- ② 店舗ネットワークの最適化を図り、効果的な営業体制を構築する
- ③ 人材育成、BPRの強化を図り、筋肉質な経営体質を構築する

2014/04

5年後、
10年後を見据えた、
持続可能な
ビジネスモデル
の完成

i プロジェクト
“Neo”

2019/04

経営理念

健全経営を維持しお客さまから信頼されること
 地域経済の発展とお客さまのご繁栄を通して社会貢献を図ること
 創造性、自主性を尊重し明るい企業文化を創ること

地域における金融仲介機能の継続的な発揮

目指す銀行像

「先進技術」「地域密着」「お客さま本位」「行員の働きがい」が融和した「革新的な銀行」

基本方針

SDGsの実践

ウィズ/アフターコロナへ向けた対応

トップライン収益力の強化

お客さまへ最適なソリューションを提供することで、お客さまの満足度を高めるとともに当行の収益力を強化する（共通価値の創造）

効率的な経営の実践

業務改革や働き方改革を通じて、トップライン強化を支える業務体制を構築する

強固な経営基盤の確立

当社のビジネスモデルが持続可能となるべく強固な経営基盤を確立する

2

經營戰略



富山銀行
Bank of Toyama



事業承継コンサルティングを行う株式会社フィーモとのアライアンスにより、創業者と承継者との間で事業承継に関する合意や家族間でのルール（家族憲章）策定を支援

ファミリービジネス特有の「スリーサークルモデル」に対する効果的なコンサルティングを実施

富山銀行・フィーモによるサポート例

意見を出し合える場所づくり

現状の把握・課題の抽出

家族憲章策定を始めとした
各種解決策の決定・実行

ファミリー
（創業者）

“想い”が複雑に絡み合う「スリーサークルモデル」

オーナー
（株主）

マネジメント
（経営者）

家族憲章策定済、もしくは策定検討中の企業を含め、約30社と関与中（2023/03現在）

2 豊富なビジネスマッチング提携先(2023/03現在)

ビジネスマッチング提携先の拡充により、多様なニーズに対し、質の高いサービスでお応えできる「地域商社」を目指す

不動産関連業務 26先

不動産売買仲介
不動産小口化商品
土地・建物売買・賃貸借
賃貸住宅一括借上 等



リース業務 9先

オペレーティングリース
ファクタリングサービス
自動車リース
設備機器等のリース 等



企業・人材紹介業務 11先

人材紹介
人材派遣業務
スカウト事業
顧問先の紹介 等



太陽光・省エネ関連業務 10先

太陽光発電事業
太陽光発電投資
LED照明
省エネ診断 等



コンサルティング業務 19先

医療介護
販路開拓・広告戦略
相続・事業承継
助成金・補助金 等



その他の業務 18先

永続企業支援、情報セキュリティ、
コインランドリー出店、福利厚生支援、
貿易保険、結婚相談所事業サービス、
天候デリバティブ取引 等

国内トッププレイヤーや専門機関とのアライアンスにより、地域商社機能を向上

日本貨物鉄道株式会社



鉄道を基軸とした、環境負荷低減に寄与する効率的かつ強靱な物流サービス提供や「2024年問題」を始めとした働き方改革への対応を支援します。

株式会社Arinos



創業者や新事業展開を検討されている方を対象に事業創出プログラムの提供を行い、創業企業数の増加による地方創生への貢献を目指します。

株式会社レオンテクノロジー



デジタル化進展に伴う、サイバーセキュリティ強化への助言・具体的な対策サービスの提供を行います。

株式会社Asian Bridge



「人材不足」という経営課題に対し、インターンシップを活用した人材紹介サービスを提供します。

来店型保険ショップ最大手である「ほけんの窓口グループ」と提携し、県内5店舗で専門的な保険コンサルティングを展開

<とやま保険プラザご利用の流れ>



Step1

ご来店いただき、お客さまのお悩み、ご要望をお聞きます。



Step2

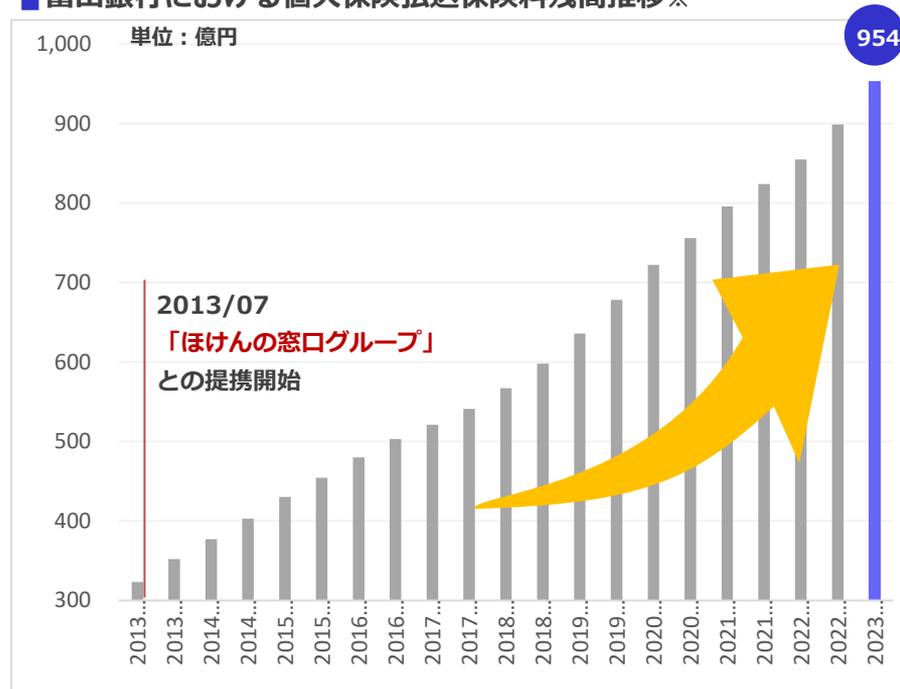
ご相談内容からどのくらいの保障が必要かを算出。問題点があれば内容を詳しくご説明します。問題点が無ければそのままOK!



Step3

ご依頼・ご要望に応じて、保険の最適なプランをご提案いたします。

■富山銀行における個人保険払込保険料残高推移※



※個人保険は払込保険料ベース、外貨建て年金は円換算額
解約分の払込保険料も含む

お客さま目線に立った、利便性の高い店舗を投入

2022年12月 横田支店をリニューアルオープン

「とやま保険プラザ横田」と「ローンステーション高岡」を併設することにより、利便性に配慮した「お客さま本位のワンストップ型店舗」としました。

また、屋上に太陽光発電を設置し、環境にも配慮しております。



2023年10月中旬には氷見支店をリニューアルオープン予定



地元氷見産の木材を積極的に活用し「地産地消」に配慮した店舗とする予定です。

3 富山銀行のSDGs



地域企業と相互に緊密な連携と協力を図り、当行が持つ「知見」「情報」「ネットワーク」「資金」などの資源を活用し、地域が抱える課題やニーズに対応することで、持続可能なまちづくりを支援



「TOYAMA SDGs AWARD 2022」を開催

- ・地域課題の解決に取り組む企業にスポットライトを当て、新たなイノベーション創出を積極的に支援
- ・SDGsに資する取組みの表彰・褒章事業は、金融機関では全国で初めての取組み
- ・当行本店が所在する高岡市がSDGsに関連した様々な催しを行う「たかおか SDGs DAYS」と連携することで、より効果的なプロモーションを展開



● グランプリ 岸田木材株式会社

- －事業の概要－
「端材・木のアップサイクルによる商品づくりや木育イベント開催」

● 準グランプリ 水口化成株式会社

- －事業の概要－
「PCR再生原料使用ストレッチフィルムによる完全循環型スキーム」

● 準グランプリ ファミーユ株式会社

- －事業の概要－
「子育てシェアハウスあかまるを活用し、おさがり交換会やおしゃべりカフェを開催」

地域企業と相互に緊密な連携と協力を図り、当行が持つ「知見」「情報」「ネットワーク」「資金」などの資源を活用し、地域が抱える課題やニーズに対応することで、持続可能なまちづくりを支援

SDGsに対する取り組みサポート

「SDGs宣言書」の策定支援を通して、地域企業のSDGsに対する取り組みをサポート



「富山銀行SDGs私募債」の取扱い

私募債発行企業さまから受取る手数料の一部を、地元教育機関等へ寄贈することにより、地域のSDGs推進を支援

SDGs私募債受託件数

- ・ 2021年度15件 寄付額 3.7百万円
- ・ 2022年度15件 寄付額 1.8百万円

「富山銀行SDGs私募債」寄贈式の模様



地域社会との連携により、地域課題の解決を更に深化

「富山の恵みにより育まれた『富山ワイン』への期待」を公表

株式会社日本政策投資銀行と共同にて、富山県内のワイナリーを中心とした関係者へのヒアリングやデータ分析等を通じ、「富山ワイン」を糸口として見出される地域の魅力と今後の展望を考察しました。

レポートのまとめでは、「**重層的なテロワール**」（ワインに関わる生産者や料理人など）により育まれる富山ワインの誕生により**関連産業が相互に高め合う環境が生まれ、「越中とやま食の王国」がさらに輝き、富山県が目指す「ウェルビーイング」への貢献が期待される、**と結ばれています。

富山の恵みにより育まれた「富山ワイン」への期待

（概要版）

2022年12月

協力：  富山銀行

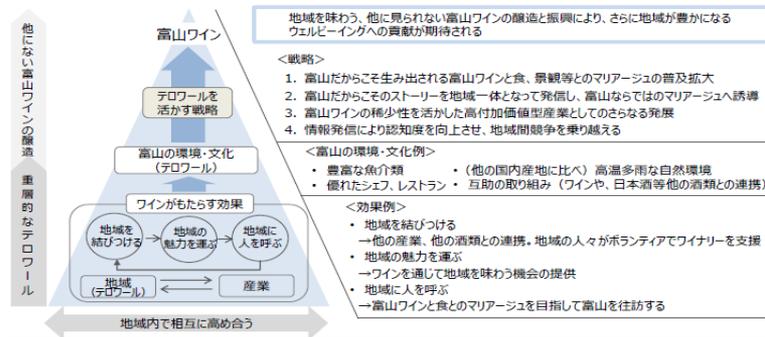
 株式会社日本政策投資銀行
富山事務所

 株式会社日本経済研究所
Japan Economic Research Institute Inc.

まとめ

- フランス語で「土地」を表す“terre”から派生した「terroir=テロワール」は、ブドウ畑の土壌やその土地の気候、造り手など、ワインをとりまく環境を表す言葉として使われているが、富山においては同地において育まれてきた「食」と、「食」を生み出す生産者や料理人、それらを支えてきた消費者である県民なども含めた重層的な「テロワール」がある。
- そうした「重層的なテロワール」により育まれる富山ワインの誕生により、関連産業が相互に高め合う環境が生まれ、「越中とやま食の王国」がさらに輝くこと、ひいては富山県が目指す「ウェルビーイング」への貢献が期待される。【図表16】

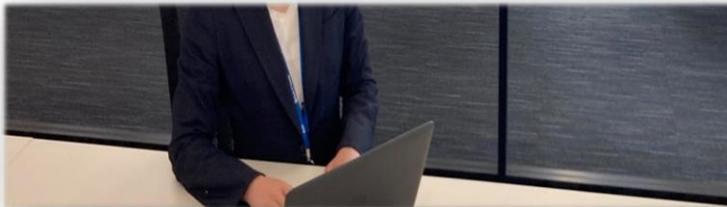
図表16：富山ワインが地域にもたらす効果と今後への期待



（出所）ヒアリング等に基づき作成

18

全役職員ひとりひとりが個性を発揮できる職場環境をつくり、「人財価値の向上」を目指す



ダイバーシティ&インクルージョンの更なる推進強化

女性支店長の積極登用などダイバーシティ推進

<総合職の女性人数>：2025年3月末には、2022年3月末対比で50%増加を目指す
 育児休業取得率100%を目標とした「女性活躍推進法に基づく第Ⅲ期行動計画」を策定

プロフェッショナル人材の採用

課題解決に向けプロフェッショナル人材の中途採用を積極的に実施

<全行員に占める割合>

2022年3月末：9% ⇒ (目標) 2030年3月末：18%



「アスリート採用」を継続的に実施

地域のスポーツ関連企業等との連携を企画し、地域におけるアスリートの発掘や
 本人のデュアルキャリア（競技と仕事の両立）の充実をサポート

2023年はアスリート人材1名を採用し、同採用者は合計3名に



SDGs目標「質の高い教育をみんなに」に通じる取組みとして、金融経済や地域活性化に関連した授業・イベントを実施



「包括的連携協力に関する覚書」に基づく
富山大学寄付講義の開講



ジョブキッズとやまへの参加



高岡・山町ポエム大賞表彰式



夢作文大募集 KNBラジオで朗読



プロスポーツ選手による出前教室

地域社会の一員として、全役職員を挙げて社会貢献に繋がる行事への参加やボランティア清掃活動を実施



富山県が主催する「とやま海ごみボランティア部」の
海岸清掃活動に参加



使い捨てコンタクトレンズ
ケースのリサイクル運動



「富山県自然博物館ねいの里」にて
自然環境保全活動

TCFD | TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES

「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」
提言への賛同を表明

TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)

金融市場安定化の観点から、2015年に金融安定理事会（FSB）の下に設置された企業の気候変動リスク・機会の情報開示を推奨する作業部会。
各企業が気候関連のリスクと機会を評価し、経営戦略・リスク管理へ反映するとともに、財務上の影響を把握・開示することを推奨している。

お客さまの役に立つタイムリーな情報提供を実施

「笑顔相続落語」



落語家と税理士による軽妙な掛け合いにより、相続対策について明るく、分かりやすく啓発しました。

「サイバー攻撃対策セミナー」



デジタル化の加速に伴うサイバー攻撃の被害や実態、サイバーセキュリティ対策について解説しました。

「介護事業経営講座」

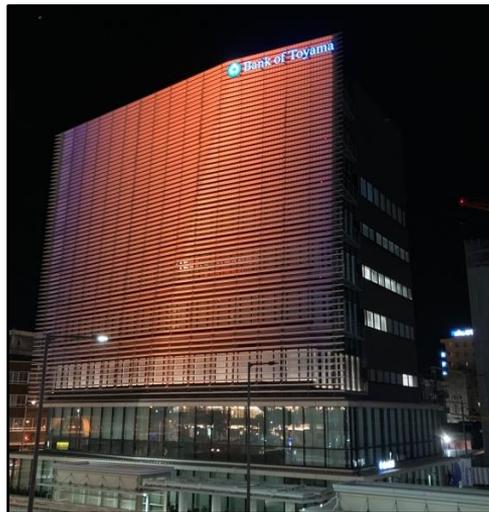


介護保険制度の動向や今後の介護業界の方向性などを解説しました。

本店ビルのライトアップにより、街の賑わい演出とSDGsに対する想いを表現



環境省のキャンペーン
「環境の日はグリーン」に賛同し、
グリーンにライトアップ



オレンジライトアップにより、
「世界アルツハイマーデー」に賛意を表明



「たかおか SDGs DAYs」に合わせ、
レインボーカラーにライトアップ

4 2023年3月期決算概要

 富山銀行

4 業績概要

● コア業務純益

資金利益、役務取引等利益が増加し、経費増加（人的資本投資及び設備投資分等）をカバーしたことから、

1,307百万円（前期比+75百万）

● 経常利益

コア業務純益及び株式等関係損益が増加したことから、

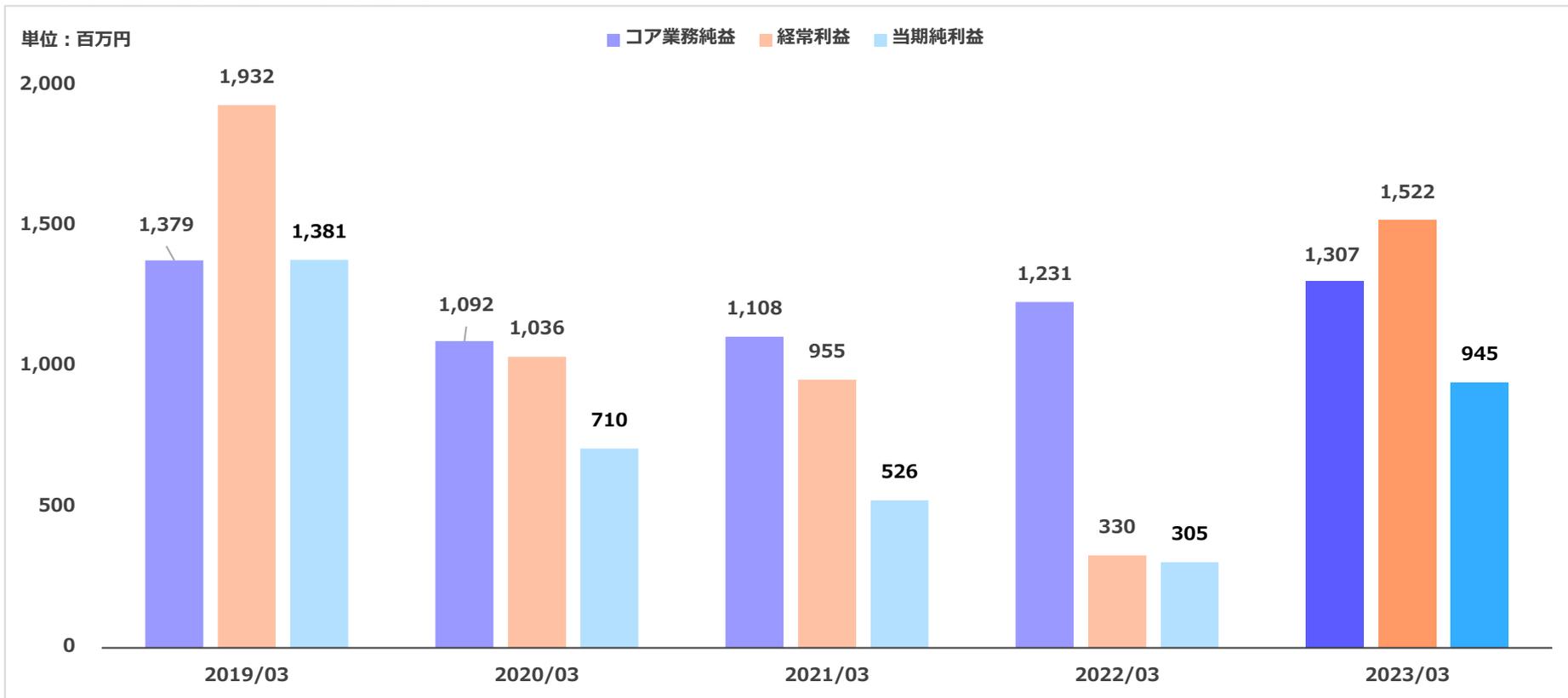
1,522百万円（前期比+1,191百万）

● 当期純利益

945百万円（前期比+640百万）

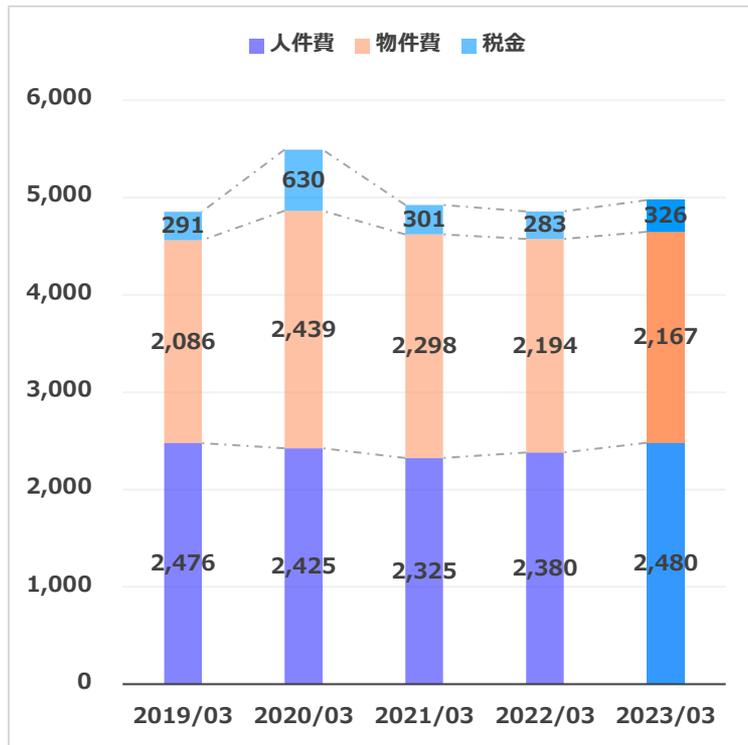
損益状況 (単位：百万円)	2023年3月期	2022年3月期比	2022年3月期
経常収益	9,338	2,316	7,022
業務粗利益	6,287	220	6,067
資金利益	5,222	142	5,079
役務取引等利益	1,041	47	993
その他業務利益	24	30	△6
経費（除く臨時処理分）	4,974	116	4,858
● コア業務純益	1,307	75	1,231
一般貸倒引当金繰入額	173	△971	1,145
業務純益	1,139	1,075	63
臨時損益	383	116	267
うち不良債権処理額	2,147	2,126	21
うち貸倒引当金戻入益 （貸倒償却引当費用）	— 2,321	— 1,155	— 1,166
うち株式等関係損益	2,401	2,267	133
● 経常利益	1,522	1,191	330
特別損益	△83	△67	△16
● 当期純利益	945	640	305

コア業務純益・経常利益・当期純利益推移



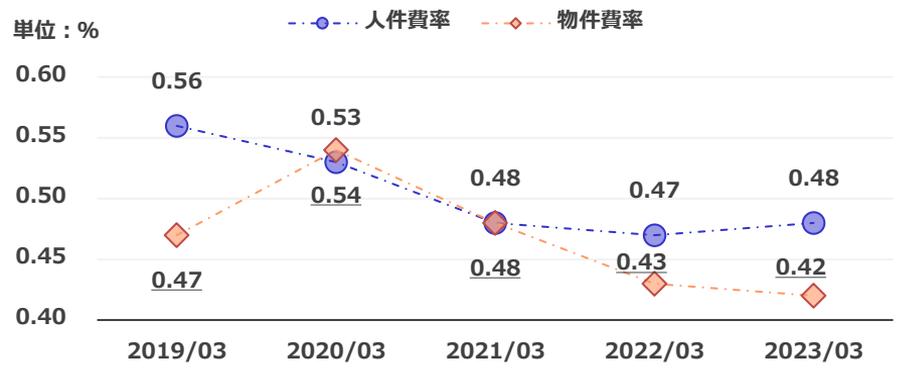
人件費・物件費・税金推移

単位：百万円



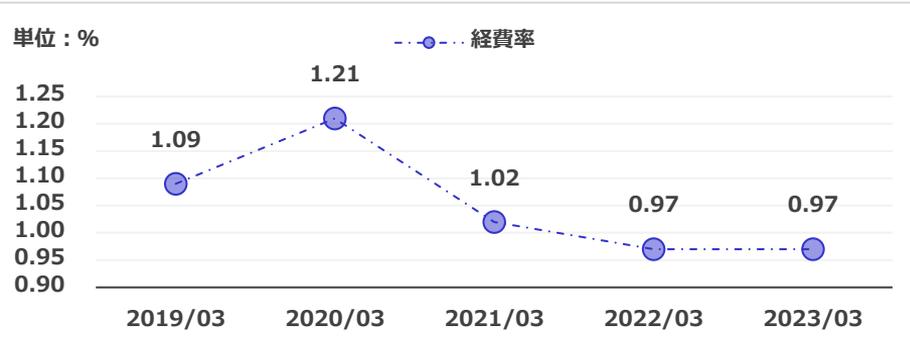
人件費率・物件費率推移

単位：%



経費率推移

単位：%



4

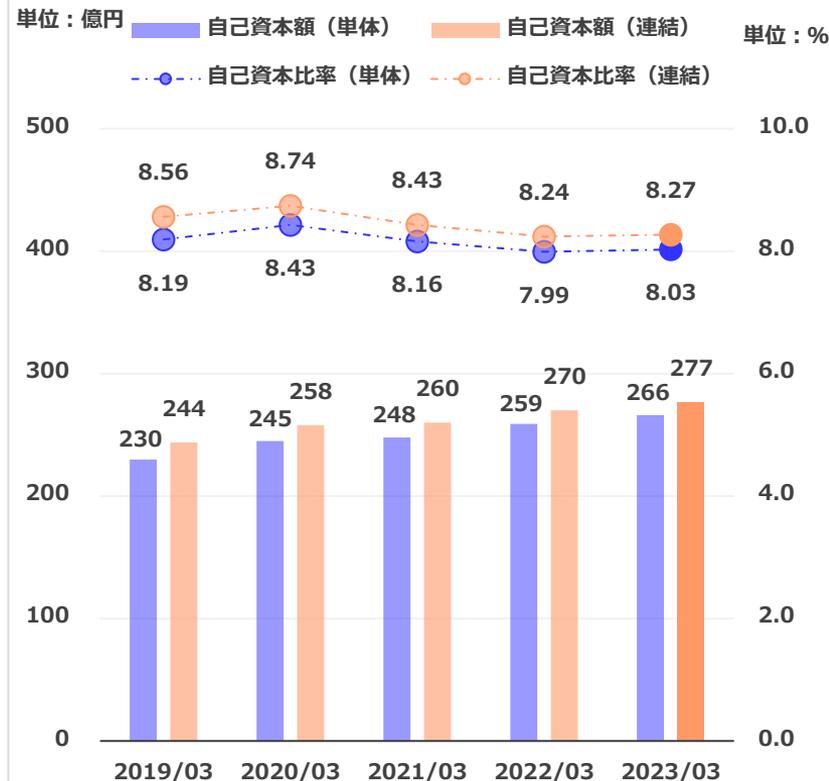
資本額・自己資本比率の推移

資本額等推移
 (単位：億円)

	2019/03	2020/03	2021/03	2022/03	2023/03
単体					
株主資本	239	244	247	247	254
自己資本額	230	245	248	259	266
リスク・アセット	2,808	2,910	3,049	3,241	3,312
連結					
株主資本	249	254	257	257	264
自己資本額	244	258	260	270	277
リスク・アセット	2,850	2,951	3,091	3,282	3,352

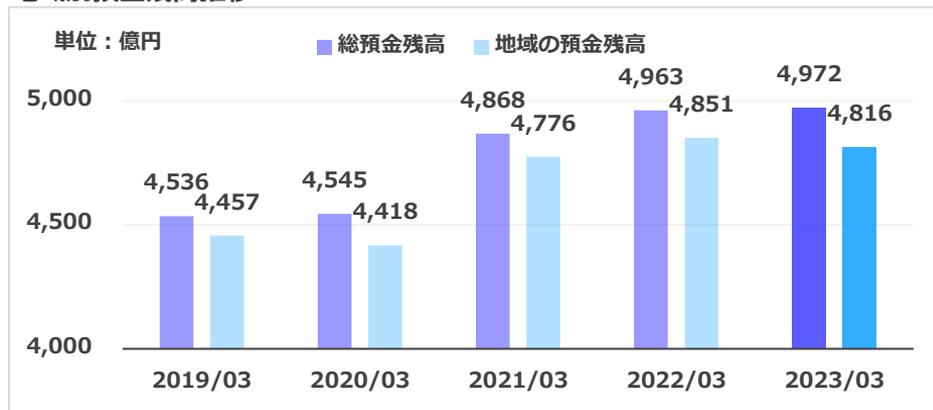
自己資本比率推移
 (単位：%)

	2019/03	2020/03	2021/03	2022/03	2023/03
単体	8.19	8.43	8.16	7.99	8.03
連結	8.56	8.74	8.43	8.24	8.27

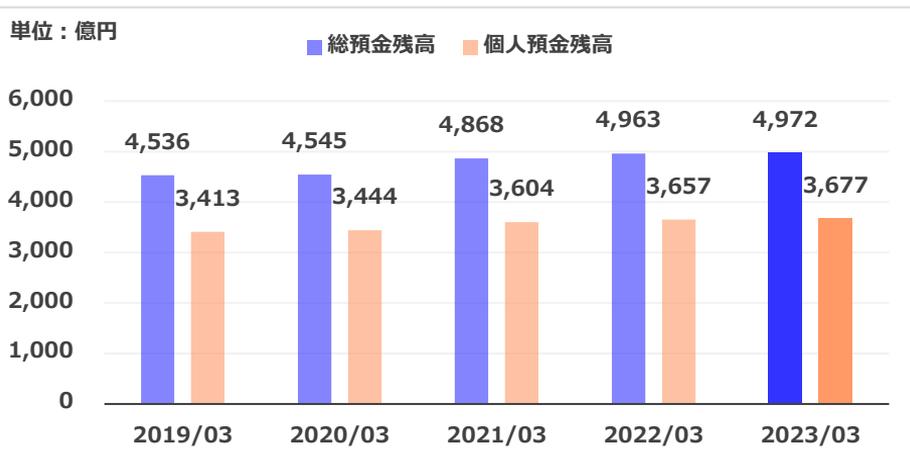
自己資本額及び自己資本比率推移


預金残高 (単位：億円、%)	2023/03	前期比	増減率	2022/03
総預金残高	4,972	9	0.19	4,963
個人預金残高	3,677	19	0.54	3,657
法人預金残高	1,295	△10	△0.77	1,305

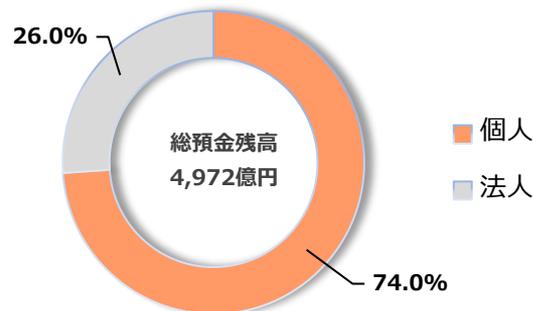
地域別預金残高推移



総預金・個人預金残高推移



個人・法人別預金残高比率



4 貸出金の推移

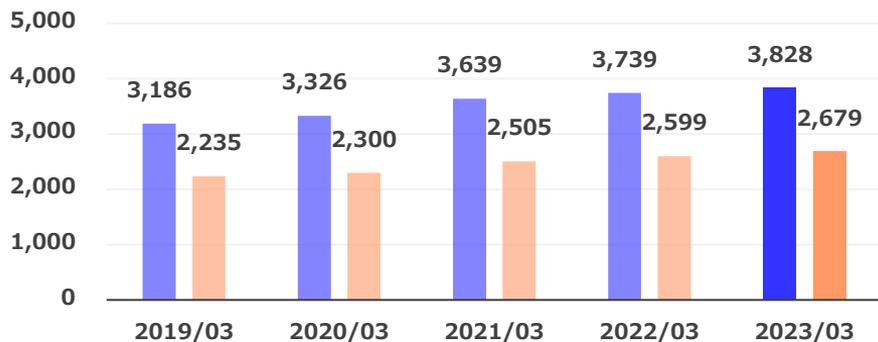
貸出金残高 (単位：億円、%)

	2023/03	前期比	増減率	2022/03
総貸出金残高	3,828	89	2.39	3,739
中小企業等貸出金	2,679	79	3.07	2,599
中小企業等貸出金比率	69.98	0.46	—	69.52
消費者ローン残高	434	3	0.56	431

総貸出金・中小企業等貸出金残高推移

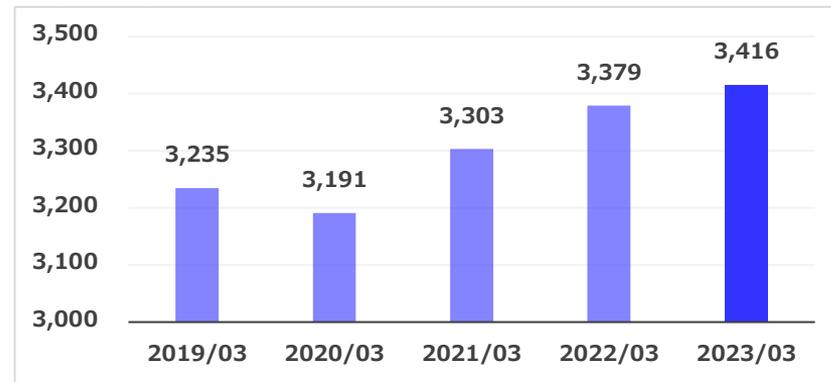
単位：億円

■ 総貸出金残高 ■ 中小企業等貸出金

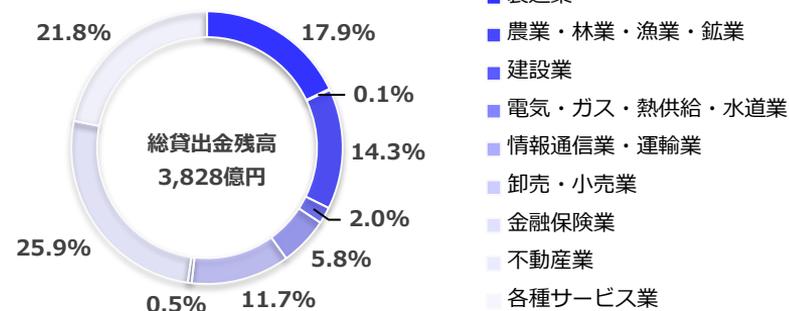


貸出金利息推移

単位：百万円

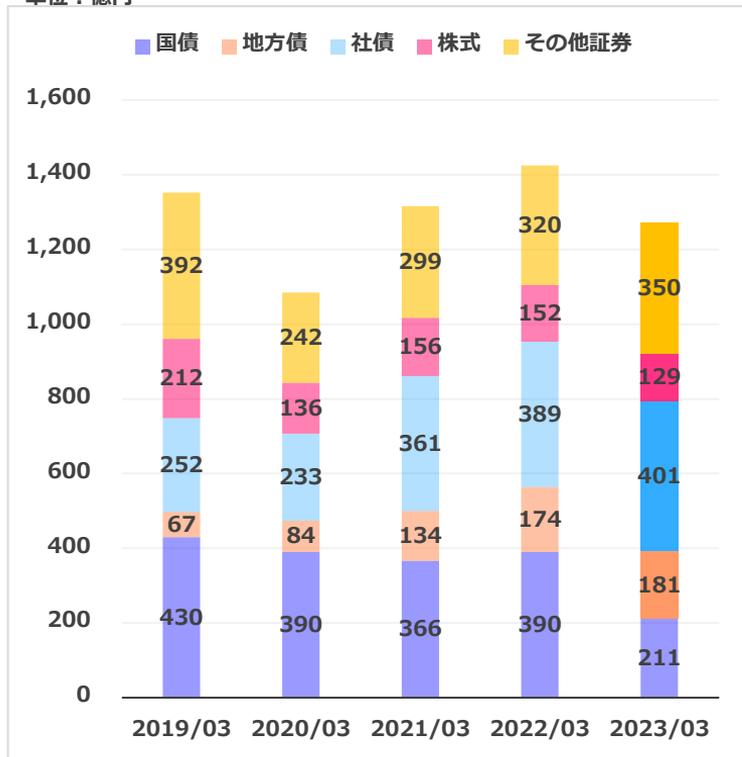


業種別貸出残高比率



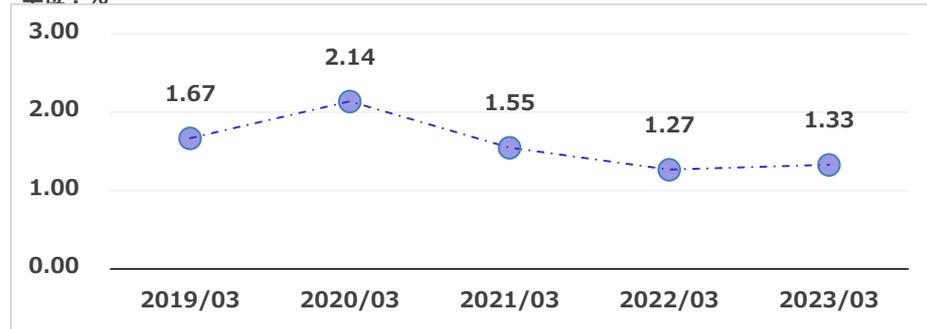
保有有価証券別残高推移

単位：億円

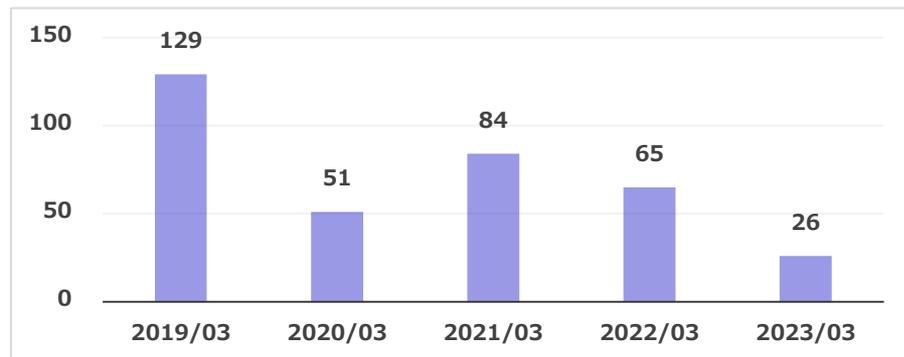


有価証券利回り推移

単位：%



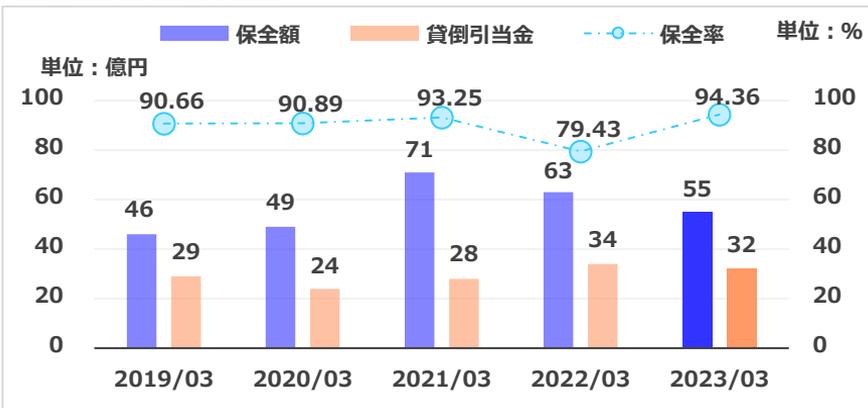
有価証券評価損益推移



4 不良債権の推移

与信関係費用 (単位：百万円)	2023/03	前期比	2022/03
一般貸倒引当金繰入額	173	△971	1,145
不良債権処理額	2,147	2,126	21
貸出金償却	1,751	1,751	—
個別貸倒引当金繰入額	386	366	20
その他の債権売却損等	8	8	0
特定海外債権引当勘定繰入	—	—	—
貸倒引当金戻入益	—	—	—
与信関係費用	2,321	1,155	1,166

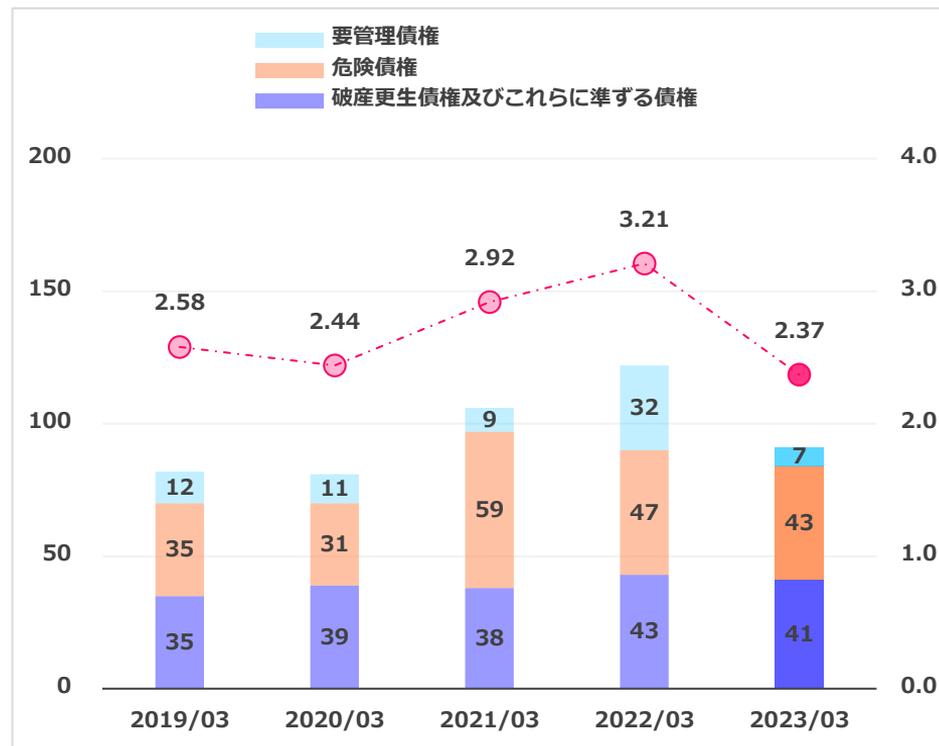
保全額及び保全率推移



不良債権残高及び不良債権比率推移

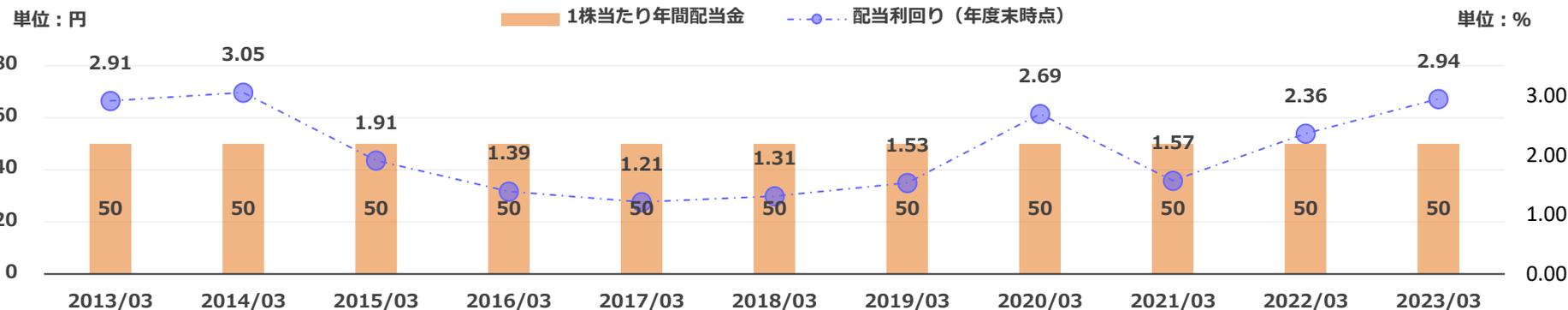
単位：億円

単位：%



配当の状況	1株当たりの配当金			配当金総額	配当性向	純資産配当率	1株当たり 当期純利益	ROE
	中間期	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)	(連結)	(連結)
	円・銭	円・銭	円・銭	百万円	%	%	円・銭	%
2022年3月期	25.00	25.00	50.00	271	81.5	0.8	61.32	1.0
2023年3月期	25.00	25.00	50.00	270	27.8	0.8	179.72	3.1
2024年3月期 (予想)	25.00	25.00	50.00	—	36.0	—	—	—

1株当たり年間配当金、配当利回り推移





本資料に関するご意見、ご感想、お問い合わせは下記担当までお願いいたします。

株式会社富山銀行総合企画部 Tel : 0766-27-0156 Fax : 0766-26-1268 E-mail : souki@toyamabank.co.jp

【ご注意】

- 本資料には将来の業績に関わる記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取り巻く環境の変化等によるリスクや不確実性を内包しておりますことにご留意ください。
- 本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。